

2023

レース結果報告書

全日本選手権 第4戦 筑波大会



レース結果

Race

前半戦最後の全日本筑波大会が終わりました。ビッグバイククラスの開催が無くなり2年ぶりの筑波サーキットでのレース参戦となりました。アクス・タイヨウ選手も初めての筑波サーキットでした。筑波サーキットは1周が2キロ若とコンパクトなデザインと、コーナーに大きなカント（傾斜）がついた独特のコースです。当初はタイヨウ選手も戸惑うかなと心配しましたが、初走行で1分6秒8を記録。コースレコードが1分4秒8だったので2秒の差しかありません。本人も楽しいと言っているように相性の良いコースのようでした。しかしここから難しいのが筑波です。その後の事前テストでもタイムは一進一退。なかなか思うようにタイムを伸ばすことが出来ずにレースウィークを迎える事と成りました。

ここまで思うような結果を残せず不完全燃焼だったタイヨウ選手の前半戦最後のレース結果をご報告いたします。

名トンベイ：全日本選手権 第4戦 筑波大会

開催日：2023年6月17-18日

レース結果：JP250 #61 アクスタイヨウ 予選 6位(4位) 決勝 5位(4位)

WEBリザルト：<https://www.jrr.jp/result2023/result-rd4-tsukuba>

YouTube動画(JP250)：<https://www.youtube.com/watch?v=WUKtXso9iGQ> (7:49からスタート)

動画再生回数:5.5万回



レース報告・アクスタイヨウ JP250・#61

Race

アクスタイヨウ コメント

筑波のようなサーキットはオーストラリアでも経験したことが無くて、コースを始めて歩いた時はヘアピンコーナーのカントがものすごくてちょっとびっくりしましたが、走ったら思ったよりうまく走ることが出来てとても楽しいコースです。1周が短いので反復練習も沢山できるので良いトレーニングにもなりました。しかし単独ではなかなかタイムを上げることが出来なくて、リズムに乗るのが難しかったです。車体セットの限界を感じてレースウイークの初日は思い切って車体セットを大幅に変更しました。前後のセットをボリュームアップして臨んだ初日のタイムは6秒2でしたが新しく試したセットアップが好フィーリングで予選に臨むことが出来ました。

公式予選

公式予選は上位ライダーの後方につける作戦でしたがコースインのタイミングが合いませんでした。気持ちを切り替えて単独でアタックを開始すると4周目に自己ベストとなる5秒6を記録。赤旗が出て一時中断後の再アタックでも5秒中盤のタイムで周回を重ね最後に5秒4迄タイムを上げることが出来ました。その結果6番手となりスターティンググリッドは2列目からのスタートとなりました。

決勝

午後になり路面温度が上がってきた中で15週の決勝が始まりました。まずまずのスタートを切ることが出来て1周目は6番手で帰ってきました。3周目に2番手を走行していた千田選手が転倒したため5番手にポジションアップ。前に行く小室選手を追いますが徐々に引き離されてしまいました。そして11周を通過した所で赤旗中断となりそのままレースが成立となり5位でレースを終えることになりました。

開幕戦の感想

前回までは不本意な結果だったので今回のレース結果はシーズン最高の結果でした。しかしまだまだ目指している所には届いていません。トップの座を獲得したいと思っています。茂木・菅生のレース結果を考えると今回結果を残せた事でホッとしています。レースウイーク中は走行が終わった後にヤマハのスタッフに走り方やコースのライン取りなど細かなチェックを指導して貰う事も出来てとても勉強になりました。

スポンサーの皆様、チームスタッフ、応援して下さった皆様、沢山のご支援ご声援をありがとうございました。夏のインターバルもしっかりと勉強して次のレースでもっと上位に行けるよう頑張ります。

スポンサー



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2023年も頑張ります！



ギャラリー

Gallery

